

High Performance Coating Materials ...

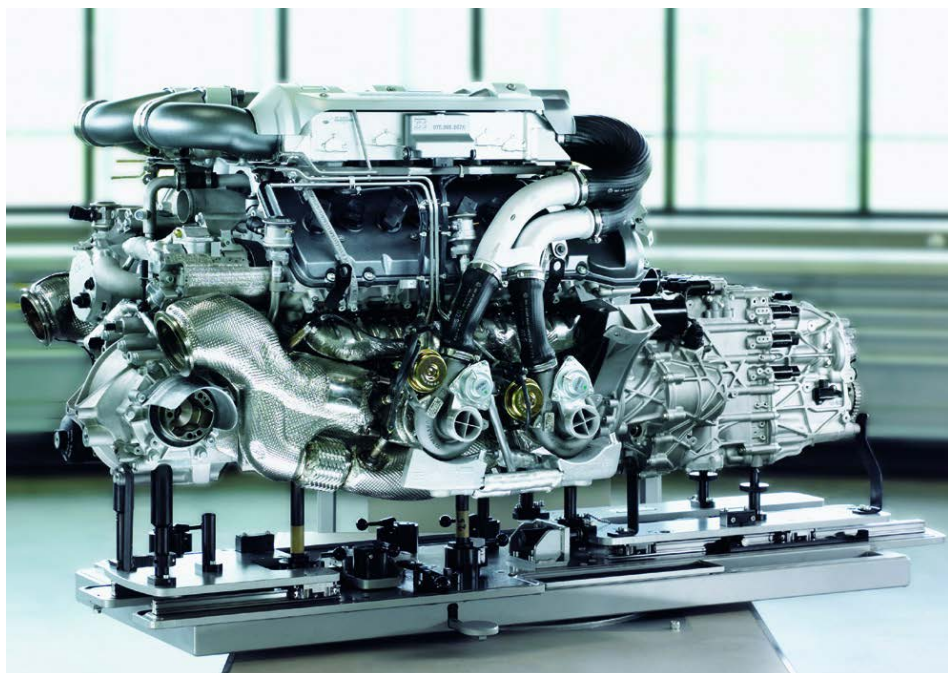
... スーパースポーツカー「ブガッティ・ヴェイロン 16.4」に採用



1939年、フランス人レーシングドライバー、ピエール・ヴェイロンは、ブガッティを駆ってかの有名なルマン 24 時間耐久レースを制しました。

フォルクスワーゲングループは、ブガッティ・ブランドを復活させ、自社の高級車ラインナップに加えました。この新しいスーパースポーツカーは、ピエール・ヴェイロンに敬意を表して「ブガッティ・ヴェイロン」と名付けられました。

ブガッティのその類まれな特徴は、最高出力 1001 馬力 (hp) のエンジンを搭載し、最高速度が 400km/h 以上に達することです。その W 型 16 気筒エンジンには、4 基の排気ターボチャージャーと 2 基の冷却装置が装備されています。また、コンパクト設計により、エンジンの軽量小型化が実現されています。



Photos and logo courtesy of Bugatti Automobiles S.A.S

ピストン群の摩擦を最小限に抑えるため、このエンジンに適用できるシリンダー表面処理のソリューションが探し求められていました。コンパクト化と軽量化、フリクションロスの低減化が図られたこのエンジンには、高品質なコーティング技術が必要とされていました。

過去 10 年間、エリコンメテコは溶射技術をベースに、それに適したテクノロジーの開発と最適化を行い、その結果、回転式内径プラズマ溶射ガンを用いて、カーボンスチールとモリブデンからなる複合金属材料をシリンダー表面に溶射する技術を開発致しました。

高エネルギーを有するアルゴン - 水素プラズマにより、再現性の高い安定した溶射を実現しています。

W16 エンジンのコーティング処理は、ブガッティからの依頼を受けて、エリコンメテコ CS Automotive が担当致しました。これらの主要諸元は、エリコンメテコのロータプラズマプロセスによるコーティング性能の高さを実証しています。

エリコンメテコは、乗用車、オートバイ、スクーター、トラック、レーシングカーといった様々な車種向けのガソリンエンジンやディーゼルエンジンへのソリューションとして、溶射材料の選定からコーティング処理、加工まで、豊富な実績を有しています。

ブガッティ W16 エンジンの主要諸元

シリンダー数	16
排気量	7993 cm ³
最高出力	1001 PS at 6000 U/min.
最大トルク	1250 Nm at 2500 U/min.